

3月12・13日開催

▼常任委員会での質疑の主な内容は次のとおりです。

◎総務課・企画商工課・産業建設課所管

『道の駅の移転関係』

Q 国の直轄事業とは。

A 用地買収から工事まで道路管理者で行うこと。地域振興施設は村で実施する。

Q 資材等高騰により工事費が概算工事費を超えた場合、全て村の負担になるのか。

A 国と按分になることを想定している。

Q コインシャワーは利用者が少ないと思われるが、費用対効果の観点から必要なのか。

A 災害時の活用も想定し計画している。

Q 道の駅や小学校、浄水場などの大規模事業を予定しているが、財政調整基金の残高と経常収支比率は。

浄水場工事を含めての残高となる。経常収支比率は、令和6年度が89.6%、今後も横ばいで推移していく。理由として本村は財政力が弱いので交付税が多い。

Q 出荷農家の高齢化に伴う出荷計画は。

A 新規就農者などで増産ができないか考えている。産業振興公社で試験栽培し、どのくらい作付けすれば儲かるのかモデル的に実施する。

Q 民間業者に委託しているところもあるようだが、外部に委託する考えはあるか。

A 運営手法によっては地域とのかかわりが希薄となり、地域活性化に繋がらない。仕入れも地元産にならないため外部に委託する考えはない。

Q 農産物の生産者が少なく、午前中で商品が無くなってしまう。生産者を増やさなければならぬが、年齢制限等でハウス設置の補助

が受けられない方もいる。

A 道の駅整備を契機に生産者を増やしていきたい。ハウス設置補助について、要望があれば再度検討する。



Q 道の駅の維持管理費はどのように考えているか。

A ランニングコストを抑えられるような建物にしていくことを検討していく。

Q 道の駅にコンビニを設置することはよいが、商店等の影響をどう考えているのか。

A 地元コンビニには声掛けする。道の駅にチャレンジショップ等の機能も整備する。

Q 概算工事費が安すぎるのではないか。

A 不透明な部分は見込んでいない。不足になれば補正も必要と考える。

Q 騒音対策はしなくてよいのか。

A 遮音壁などの対策を検討していく。

Q 道の駅整備推進室長の役割は。

A 課長職となり、議会にも出席する。

Q 何人体制なのか。

A 決まっていないが3名〜5名体制になる。

Q 道の駅を整備するために設置するのか。

A 大規模事業のため独立して事業を推進していく。

Q 道の駅の移転や消防署の移転が決定したかのように、新聞やロードオアシス等に掲載し、既成事実を作り議会が反論できないような状況に追い込むのは、二元代表制及び議会軽視になるので自粛していただきたい。

A 今後気を付ける。

◎総務課所管

Q 集会所改修工事に係

る補助金90万円の予定は。

A 4行政区から要望が上っている分。

Q 証明書等のコンビニ交付の運用は国統一ではないのか。

A 市町村独自である。導入に約2千万円、ランニングコストが毎年約7百万円。詳細は住民課所管になる。

なお、LINEによる電子申請も始まっており、ランニングコストや費用対効果を見ながら検討している。

◎教育課所管

Q 旧蓬田中学校の解体工事、村内業者が受注できるのか。

A まだ決まっていない。解体の設計が完了した後、積算額を見ながら検討することになる。

Q 全ての建物を解体するのか。

A 体育館は残して、スポ少の練習施設も残す予定。電気は体育館の設備をえるよう改修し、トイレも今まで通り利用できる。

Q 給食費無償化に伴い、賄材料費として予算計上されているが、国の補助額はいくらか。

A 約1千万円を見込んでいる。

Q パークゴルフ場の新しい進入路の施工の実施時期は。

A 利用者が増加し現在の進入路では支障が出てきたときに取り組むことになる。

Q スクールバスの乗降場所は、3年毎に見直しを行っているようだが、毎年生徒が変わるため、毎年実施しては。

A 今年は2年目だが、見直しを実施した。なお、周囲の交通量やバスの巡回などの条件により個々の要望は受け入れられない部分もある。



(要望)

▼4 km以内で自転車通学するにも、季節や天候の関係で、実際に通えるのは年間の半分くらいである。対象距離については今後検討をお願いしたい。

Q 先生方は1日の労働時間の中で十分な休憩はとれているのか。こども園及び小中学校を含め実情は如何か。

A こども園は、60分休憩とはいかないが、子どもの昼寝の時間や、朝夕の時間など分散しながら休憩をとれるようにしている。

A 小中学校(7時間45分勤務)においては、45分の休憩時間を交代しながら休めるようにしている。

◎住民課所管

Q 健康カレンダーの作成費用は、国保会計ではなく一般会計から支出するようになったのではないか。

A 国保会計から支出しているが、令和8年度は予算化していない。

健康カレンダーの作成は見直しをし、広報誌の他、村のホームページや公式LINE等への掲載を検討している。

Q 子ども子育て支援金の事業実施への予算はあるのか。

A 村で徴収した負担金を県に納付し、その後村に配分される。

◎健康福祉課所管

Q 带状疱疹のワクチン接種を受ける際は、健康福祉課への連絡が必要か。

A 連絡は不要。

Q 補聴器購入補助の予算が5件分であるが、足りなくなった場合補正で対応するのか。

A 補正で対応する。

Q 社会福祉協議会への運営補助金が3百万円の増加、前回の補正でも5百万円の増をしているが、土日のデイサービスを復活させるための運営補助なのか。

A 人件費の増加によるものである。

◎企画商工課所管

Q 住宅取得補助金に新設される「長期優良住宅加算」とは。

A 「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき認定される、断熱性能等の要件について一定以上の基準を満たした住宅に対し補助金を増額するもの。

Q 浜・中・会津友好協定を結んでいる広野町及び西会津町の全町民に、ジューピアランド入園無料券を配布しているという話を聞いたが、現在も継続しているのか。

A 全町民には配布していない。

Q 今年度地域おこし協力隊の採用は何人いるのか。

A 問い合わせは数人あったが、応募に至らず0人である。

Q 近隣町村では、定住促進等のPRを地域おこし協力隊が担っている事例もある。定住・移住に向けた村の取組が見えない。

A 移住パンフレットを令和6年度に作成し、首都圏の移住フェア等で相談者に配付・説明している。

Q 元地域おこし協力隊が県の補助金を使って整備した加工施設は活用できないか。

A 個人で使用されていると把握している。村の負担はなかったが、県のサポート事業を活用した経緯もあり現状を確認する。

◎産業建設課所管

Q 井戸水の検査手数料は通常いくらか。

A 通常は1万円前後である。

Q ハバネロ振興補助とは。

A 道の駅ひらがたが生産者から買取する金額に1kgあたり40円上乗せして、ハバネロ生産組合に補助するもの。

Q 熊出没時対応備品の購入内容は。

A 熊スプレー、熊鈴他11品目である。

Q 逆水論田線の工事は、どの区間を実施する予定か。

A 国への要望額は、沼田地区の接続部分の工事を想定。



Q 大柿打違内線の工事は、令和8年度実施されるのか。

A 社会資本整備総合交付金事業で予算計上しているが、補助内示額に応じ検討する。

Q 行政区から要望のある日陰地対策の支障木伐採は、実施しているか。

A 緊急性が高い所を実施している。

Q 北田水尾線の修繕工事は、部分的に実施しているのか。

A 道路舗装維持管理指数が4を下回ったところから実施している。

※道路舗装維持管理指数とは、舗装の「ひび割れ率」「わだち掘れ量」等を評価するもので10点法で評価され、劣化が多いほど点数が低い。

◎農業基盤整備促進事業補助金で暗渠排水の

1反歩あたりの金額は、

A 1反歩あたり22万5千円になっている。国の予算も不透明なため、令和8年度は募集を優先的にしたい。

Q 北屋敷の圃場整備において、水不足が懸念される。ため池等を造る予定はあるのか。

A 取排水を一緒にすることにより、水不足を補えるよう設計を行っている。

(意見)

▼農業用水用の井戸掘削を検討しては。

(要望)

▼若者定住促進住宅について、45歳までが入居条件であるが、その後も平田村に定住のためのフォローも検討してほしい。